

令和6年3月7日

経済産業省

経済産業大臣

齋藤 健 殿

木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟

会 長 衛藤征士郎

会長代行 中 谷 元

最高顧問 太田昭宏

幹事長 塩 谷 立

共同幹事長 稲 津 久

(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会

代表理事会長 原 口 博 光



中小企業等事業再構築促進基金

「中小企業省力化投資補助金」および「事業再構築補助金」
の新生と拡大

2023年11月11日、12日間実施された政府の「秋の行政レビュー」に於いて、特に「事業再構築補助金」については、廃止を含めた根本的な見直しや新規採択の停止を求める意見が出たとの報道が相次いでいます。

有識者からは「コロナ対策としての役割は終わりつつある」とか、行革相から「政治の責任」とか、どうも大局観や世界観の欠如した見解だと思われまます。「責任」とは申請者側の怠惰から生じるものです。

「コロナ」を起点として、製造業の省人化、省力化（少子化対策）による生産性向上に対峙する絶好の機会として取り組む。

そもそも「コロナ」を起点として、製造業の省人化、省力化（少子化対策）による生産性向上に対峙するCAD/CAM化、IoT、AIのDX化を推進

令和6年4月1日

経済産業省
経済産業大臣
齋藤 健 殿

木の総合文化(ウッドレガシー)を推進する議員連盟

会 長 衛藤征士郎
会長代行 中 谷 元
最高顧問 太田昭宏
幹事長 塩 谷 立
共同幹事長 稲 津 久
事務局長 武 部 新
共同事務局長 横 山 信 一

(一社)木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会
代表理事会長 原 口 博 光



中小企業等事業再構築促進基金

「中小企業省力化投資補助金」および「事業再構築補助金」 の新生と拡大

2023年11月11日、12日間実施された政府の「秋の行政レビュー」に於いて、特に「事業再構築補助金」については、廃止を含めた根本的な見直しや新規採択の停止を求める意見が出たとの報道が相次いでいます。

有識者からは「コロナ対策としての役割は終わりつつある」とか、行革相から「政治の責任」とか、どうも大局観や世界観の欠如した見解だと思われまます。「責任」とは申請者側の怠惰から生じるものです。

「コロナ」を起点として、製造業の省人化、省力化（少子化対策）による生産性向上に対峙する絶好の機会として取り組む。

そもそも「コロナ」を起点として、製造業の省人化、省力化（少子化対策）による生産性向上に対峙するCAD/CAM化、IoT、AIのDX化を推進

する絶好の機会として、取組むべきではないでしょうか。

約40年前世界競争率1位が現在は34位です。

挽回する時が到来したのです。

廃止や国庫への返納という意見は一見、無駄な資金使用があったということになります。

どの産業で不祥事が起きたのか、一部を以って、全体を推し測る事は軽率であり、危険です。

産業の再構築がコロナ禍及び終了後の厳しい社会情勢に於いて、営まれている点を把握しているとは思えません。

又、平時に於いても、事業再構築は3年以上かかるのが通常である旨、経済人は承知しています。

時代が要請する産業の育成はグローバルな視点で政策を立案することが肝要です。

産業の振興は差別化を推進する時代の要請に対峙可能な地政学的不利を克服する強力にして、迅速、適切な方針です。

政治には現象の一部から思い付きのような政策を考察することなく、実りある未来を実現するための方針の提示が望まれます。

80年代、鈴木善幸政権は「増税なき財政再建」を提示して、「第二次臨時行政調査会」を立ち上げ種々の改革を推進しました。

現時、政府は半導体産業に多大な資金を投入し、グローバル市場に於いて、競争に打勝って、市場占有率の拡大を図っています。

産業別補助金のあり方がグローバル市場に於いて重要。

産業別補助金のあり方がグローバル市場に於いて、望まれます。

木材産業はCO₂吸収並びに固定化に役立つ産業として、気候変動に貢献しています。

木材産業の「中小企業省力化投資補助金」および「事業再構築補助金」の新生と拡大。

「中小企業投資促進税制」

2 / 3 ・ 1億5千万円支援規模の一層の充実。

「事業再構築補助金」

2 / 3 ・ 8千万～2億円支援規模の一層の充実。

回数は年2回とし、5月と11月とする。

以下、木材産業が環境に果たす役割について、簡潔に記します。

森林は4億年前から、資源環境の一部であり大気組成も温度環境も土壌環境も過去の森林が創り出したものです。

環境保全機能（国土保全機能）が、森林の機能の中で最大なものです。

光合成生産力によって、CO₂を吸収した木材を公共建築物、住宅、家具、建具、木製サッシとして、長期間利用することがCO₂固定化に貢献します。

日本産材を「伐採して跡地に植林し、利活用する産業」である木材産業の成長化が直面する身近な「気候変動」という地球規模の環境保全に多大な役割を果たすこととなります。

健全な森林が健全な河川を維持し、豊穡な海を育てており、このサイクルがCO₂排出削減と食の安全・自給化向上に役立ちます。

木材は重量の半分が炭素で、燃えるか、腐朽しない限り、炭酸ガス(CO₂)を発生しません。

この木材の特徴を利用している木材・木材関連製品(製材、合板、繊維板、集成材、木質ボード、木製家具・建具・木製サッシ等々)は常に炭素を保有し、商品としてある限り、炭酸ガスを放出しません。

美しい景観とそれに伴う観光、伝統的木の総合文化、木材の保湿性、調湿性など木材は私達の生理や情緒に作用し、健康維持に効果があるという研究成果が立証されております。

特に、青少年少女が木に接することで、将来木に携わる職業(学者、建築家、家具、建具の職人)を目指す人材が増えると、木の総合文化を伝承することが出来ます。

当該協議会は「利他」、「社会貢献」、「社会的善」という理念の基に価値観を共有する企業、団体が集い「気候変動」、「地球温暖化防止」、「炭素固定化」に取り組んでいる一般社団法人です。

是非、産業別補助金制度について、御採用のほど御願ひ申し上げます。

以上